



ありんこ便り

由木かたくりの会の家族会「ありの会」会報

2016 年
12月14日発行
通巻第 27 号

「ありの会」へのご意見・ご要望は 〒192-0355 八王子市堀之内1236-8 社会福祉法人由木かたくりの会気付「ありんこポスト」までに郵送するか、ポストに直接投函して下さい。Eメールで送る場合のアドレスは《 arinko_renraku@yahoo.co.jp 》へ。ホームページは《 http://space.geocities.jp/arinko_renraku 》です。

法人の 10 周年記念式典

11 月 25 日（金）南大沢文化会館交流ホールにて、社会福祉法人由木かたくりの会創立 10 周年記念式典が盛大に行われました。第 1 部の式典では、多くの来賓の方々にご出席いただき、暖かいお祝いの言葉をいただきました。第 2 部の祝賀会は、利用者の代表者からのお祝の言葉やスライドショーが、お菓子を囲み終始和やかに取り行われました。スライドショーでは懐かしい写真に、利用者の皆さんの笑顔があふれ、思いで話しに盛り上がったひと時でした。とても暖かい雰囲気の祝賀会となりました。



式典に先立ち、ありの会から野口洋子前理事長著「かたくりの会と私と」を家族会会員の皆様へ配布いたしました。法人から感謝状を贈られた野口洋子前理事長、故鈴木昇様、故鈴木タエ様、鈴木亨様をはじめ、かたくりの会をささえてこられた多くの方々のこれまでのご苦勞とご功績を知ることができ、利用者と家族が安心して生活できる場所を築きあげていただいたことに、あらためて感謝を述べさせていただきたいと思います。

かたくりの会がさらに素晴らしい法人となって20周年を迎えることができるよう、ありの会も一緒に歩んでいきたいと思います。



感謝状の贈呈



記念品の贈呈

利用者さんたちからも、元気な挨拶が続きました。



会場の入り口（上）、祝賀会ではスライドショー（右）を楽しみました。



後援会とありの会からの記念品について

法人へ 壁掛けテレビ 57,000 円、式典 花 10,000 円 を贈りました。

来賓の皆様、当日式典参加者へ 紅白饅頭 28,490 円を贈りました。（いずれも金額はありの会負担分の記載です。）

※ 来賓の皆様には「かたくりの会と私と」を謹呈させていただきました。

利用者の皆様へ 商品券 1,000 円

便宜上、のしには「ありの会」とさせていただきますが、平成 27 年度までのフェスタかたかごにおいて後援会とありの会で企画担当し、会員皆様にご協力いただきましたバザーの売上金によります。

フェスタかたかご

11月5日（土）さわやかな秋晴れの中、第6回フェスタかたかごが盛大に開催されました。今年も「かたくり太鼓」の力強い演奏で素晴らしい幕開けとなりました。今年、

ありの会は、焼きそば、フランクフルト、飲み物、バザー、つりゲームを担当しました。バザーとつりゲームでは、それぞれ由木工房、かたくりの家の生活介護の利用者の皆さんが看板を作成してくださり、楽しいお店になりました。



今年は焼きそば、フランクフルトの全員配布をやめて、利用者の皆さんが好きなものを選んでお買い物をするという内容にしてみました。ボランティアの方や職員の皆さんと一緒に休憩時間にたくさんの利用者の皆さんが買い物にきてくれました。多くの地域のお客さまや、車で通りかかって楽しそうな雰囲気をみて寄っていただいたお客さまもいらして、焼きそば、フランクフルトは各200食完売となりました。バザーでは、日用品や雑貨、手作り品などが特に好評で下記のとりの売り上げとなりました。バザーの商品提供、準備、当日のお手伝いなど、多くのご家族の皆様にご協力いただきました。本当に有難うございました。来年もご協力よろしくお願い致します。当日のお手伝いの時間のご都合がつかない方でも、ぜひフェスタかたかごを楽しんでいただくために足を運んでいただけたらと思います。

最後になりましたが実行委員の職員の皆様、後援会の皆様、ありの会の昨年度、今年度の役員の方々、早くからの様々な準備から、後片付けまで本当にお疲れ様でした。力をあわせて来年も楽しいフェスタかたかごにしましょう！



フェスタ会計報告

各売り上げ	：	つりゲーム	2,600円、バザー	37,975円
		食品（焼きそば、フランクフルト、ドリンク）	37,060円	
総売り上げ	：	77,635円	、仕入れ	55,555円
純利益	：	22,080円		

「かたくりの会と私と」の出版

前号のありんこ便りにて「かたくりの会と私と」が連載18回をもちまして最終回を迎えこの度、出版のはこびとなりました。本の出版にあたりましては、長きにわたり執筆下さいました、著者 野口洋子様と、「ありんこ便り」連載当初より編集に携わって頂き、出版にあたって「解題」を執筆下さいました初代ありの会会長、現由木かたくりの会後援会事務局長の小川原健太様、同じく連載当初より制作の中心となって携わって下さいました、広報ワーキンググループ長の備前良雄様の数年にわたるご尽力がございました。また、会員の田邊治樹様には、出版に関する全般につきましてアドバイスを頂き、制作に携わって頂きました。田邊様よりご紹介頂きましたデザイナーの須賀稔様が表紙デザイン、本文レイアウトで、この本に温かな心のこもった彩を与えて下さいました。そして、初代からのありの会役員の皆様と、全会員の皆様の願いとご協力によって法人設立10周年にあわせて出版し、この記録を長く残せる形にする事が出来ました。改めて感謝申し上げます。

出版を記念しまして、会員の皆様、法人職員とボランティアの皆様、法人理事評議員の皆様、10周年式典のご来賓の皆様、由木かたくりの会設立当初よりお世話になった方々、出版に関してご協力いただいた方々へ、本を配布させて頂きました。来年以降の入所者の方々に配布する分を取って置いてもまだ残部があります。会員の皆さまで、ご家族・友人・知人にお送りしたい方がいらっしゃる場合お分けする事が可能です。本の購入をご希望の方は、ありんこ便りタイトル下の連絡先までお知らせ下さい。今後は販売につきましても検討して参ります。



「多摩丘陵の牧場のおっさんの環境福祉」

～～ 鈴木 亨さんからの寄稿 ～～

私は昭和29年に東京都南多摩郡由木村堀之内で生まれました。現八王子市堀之内ですが、純農村で明治30年代から100年近く酪農を続けてきた農家です。昭和40年ぐらいまでは多摩丘陵の緑豊かな自然環境に囲まれた酪農集落で11軒も並ぶところで東京の酪農銀座とも言われていました。そんなのどかな農村で生まれました。

昭和39年からその純農村地域が大きな時代の流れの波にのまれてしまうという出来事が始まりました。日本の経済成長によって東京の人口が増えて行き、住宅政策で多摩ニュータウン開発という3000haの計画が降りかかってきました。父で3代目となる酪農経営の危機でした。所得倍増という農業政策の中で規模拡大で毎日、毎日の仕事で地域を支えているところに、日本の産業を支えるための国策として多摩丘陵を全面買収して農業を認めない新住宅市街地開発法（新住法）で更地にしてベッドタウンを作るという計画でした。父は反対の意思を八王子市や東京都に訴え始めました。

私の住む町の八王子市堀之内寺沢もその机の上で作図された計画の中に入っていました。父の選択は酪農を続けることでした。東京都や八王子市に酪農集落を存続させる請願活動が始まりました。東京都の農業行政の職員にもかかわってもらい、その活動とともに、市民も巻き込む活動になっていきました。農業者だけではなく、農業に、町づくりに興味を持った市民の「ユギ・ファーマーズクラブ」（正式名称：由木の農業と自然を育てる会）とも活動が始まり



ました。酪農とともに生活の中で農作業に取り組む、畑仕事、コメ作り、収穫祭と、いろんな「農業」への取り組みをしていく中で「農業公園構想」というものを訴えるようになっていきました。お正月の新年会にはこれらの活動を新聞記事で知った多摩ニュータウンに住む障害者の家族の方が参加しました。

多摩ニュータウン開発は駅と商店街、スーパー、保育園、幼稚園、小、中、高校しかないベットタウンです。多摩ニュータウン地域の養護学校を卒業しても、多摩ニュータウンは新しく出来た町なので福祉作業所のような施設はありません。新住法の下ではそのような用地を取得することさえできない町でした。そんな中で、我が家と親交を深めた障害者家族が養護学校の在学中から我が家の畑仕事に親子でやってくるようになりました。

作業をしていくことで、父はうちの畑に作業所を作ることを決めました。しかし、都市計画の法律はとても大変な壁で、市街化調整区域では無認可の福祉作業所の許可がおりないというものでした。それでも長い間、多摩ニュータウン開発で行政との戦いの経験もあったので、あきらめないで進みました。農作業を中心とした日中活動の福祉施設ということで、東京都、八王子市を納得させ、「かたくりの家」というかわいいログハウスを建て、農作業を基本に取り組むという多摩ニュータウンの八王子市由木地区には皆無だった福祉施設を立ち上げることができました。ベットタウンという「ただ寝るために帰ってくる町」に障害者が農作業を通じて社会にかかわれる取り組みが始まりました。最初は4名の小さな作業所でしたが（まだ就学中の障害者を含めて会員は18人いた）少しずつ利用者が増えていく中で、クッキー工房、喫茶と事業も広がっていきました。多摩ニュータウンという大規模な町ができていく中で都市近郊農地という環境が目の前に現れてきました。

その時代の中で父からの相続という大きな節目が来ました。相続で福祉作業所の存続か農地に戻すかという大きな問題にぶつかりました。自分はNPO法の成立や自然保護活動などにかかわっていたこともあり、その時には牛の飼育の仕事をしてながら、無認可の施設をNPO法人ではなく社会福祉法人を目指して行くために相続を決めました。障害者と共に自分の住む町で農業を盛り上げていくために、地域の担い手となり、継続性のある福祉施設を目指して社会福祉法人「由木かたくりの会」を、多くの人の協力のもとに多摩地区では前例のない事業を立ち上げてきました。

酪農の仕事をしてながら、多摩ニュータウン開発で農業を残す取り組みをして来ました。この中で、堀之内寺沢里山公園や多摩丘陵の自然を保全していくために堀之内里山保全地域指定地として東京都環境局による7ヘクタールの認定を取りました。こうした環境への取り組みで自然豊かな環境のなかで、さらに人がかかわり、担い手としての福祉施設が地域に貢献できる施設にできました。しかし、地域福祉にはまだ、まだ、実際には程遠いです。身近で野菜を作り、レストランで地産地消する取り組みもやっています。

実際に身近なところで障害者と畑仕事していくって大変なことです。でも、みんなの顔を見ながら毎日の仕事で、みんなの笑顔を見ているだけでも明日への力になるほど、これからの夢を語れる場になってることを感じながらやれる地域になっていると思います。今、自分がやっている取り組みは、小さなことですが昨年の1月から始めた「牧場マルシェ」です。2つの福祉作業所の農作業の畑で作った野菜や、クッキー、パンを身近な公園で、「僕たちの作った野菜を買ってください」と施設の外で、同じ地域に住む人に自ら販売する「牧場マルシェ」は他に地域で活動している子供支援、町づくりなどのNPO法人とともに、お店を出店する中で地域に参加し一緒に取り組める場を作ってきました。

小さな村社会で酪農をしてきたところに、国の大きな町づくり開発に飲み込まれてしまいそうになった時代の流れの中で守り育て続け、新しい町の人とかかわって、市民と農業環境を守り育てていく中で、障害者の家族もともということで、父の相続なかで福祉作業所に土地を提供し、地域の担い手となるよう社会福祉法人を立ち上げてきました。今、振り返ると住む町をデザインしてきました。その中で、人がどうかかわっていけるか、人の輪をどう広げていくかを考えてきました。その場しのぎでは継続的に行動することができません。農業をやっていける町づくりを夢見て、お墓造成の反対請願、違法残土を食い止めるための活動、その後の自然保護活動、市民の活躍できる里山公園を実現してきました。また、農業の法律も変わってきて、東京の畑で新規就農ができるようになってきました。私の農場は「ユギムラ牧場」という活動の場になってきました。20代の若い人たちが株式会社を作って、農家生まれでは

なくとも農業をやりたい若い人が野菜作り、販売も独自のやり方で活躍しています。当初は二人の青年に福祉作業所に携わってもらいました。福祉の取り組みはどういうものかを知って欲しかったからです。その若い新規就農者は福祉事業にもかかわっています。上記の牧場マルシェの取り組みは若い人達の自らの取り組みであり、その若い人の周りに近隣の大学生や教員もかかわってもらうことで、地域で支える農業と福祉の連携を若い人に受け継ぐ取り組みになってきました。

鈴木さんからのプロフィール

多摩丘陵の自然豊かな地に住んでいます。
今後もこの地を活かした中で身近にある福祉施設と
里山保全活動に取り組み豊かな環境福祉に向けて進みます。

名前：鈴木 亨
ふりがな：すずき とおる
酪農家4代目 30年
ニックネーム：牧場のおっさん
生まれた日：1954年
血液型：AB型
出生地：南多摩郡由木村堀之内862
趣味：日本一周実行中
ゴールデンリトルリバーと旅を実行中

関連リンク

八王子市障害福祉施設 NPO 7 法人研修会代表
NPO 法人 YUGI 代表理事
多摩丘陵の牧場のおっさんの環境福祉
<http://ossan2.tamaliver.jp/>
牧場のおっさんです。
<http://www3.tnt-net.co.jp/ossan/>
私設八王子市堀之内寺沢里山公園
<http://www3.tnt-net.co.jp/ossan/horinouti-satoyama/park.htm>

TEL：090-1695-6799

勤続 10 年のお祝いと成人のお祝い

◎ 勤続 10 年の皆さま

勤続 10 年、おめでとうございます！ 皆さんの頑張りに敬意を表すと共に、益々のご活躍をお祈りしています。
(対象者は 2007,3,31 までに入会された方です。対象の方で名前が挙がっていない方は、ありの会メールアドレス、またはありんこポストへご連絡ください。)

かたくりの家

【生活介護】 AO IZ EB OOT TN
NG BZ HR MR MY
【B型】 OG KD SK HS MR

由木工房

【生活介護】 BB HN MT MR TD
【B型】 IS US OOH EJ KR
HR MC

ぷらさ・de・かたくり

【B型】 IK IZ IM UC EZ
EG KS SR SG NK NS
SI TD HM



◎ 成人を迎える皆さま

ご成人おめでとうございます！！

希望に満ちた未来に心よりお喜びを申し上げます。

MS 由木工房 食品加工

YM 由木工房 喫茶

NK 由木工房 喫茶

MT ぷらさ・de・かたくり



お知らせ

◎ 異動のお知らせ

由木工房 就労移行支援でご活躍されていた野田友弥さんが「オリンパスサポートメイト株式会社」へ8月1日に入社されました。ありの会から就職のお祝いをお渡ししました。ご本人から、お祝いのお礼と、お元気で頑張っておられるとの、おたよりをいただきました。今後のますますのご活躍お祈りしています！



< 退会者 >

YM 由木工房 生活介護 7月31日付

ND 由木工房 就労支援 7月31日付

WT かたくりの家 生活介護 9月24日付

MN 由木工房 生活介護 10月31日付

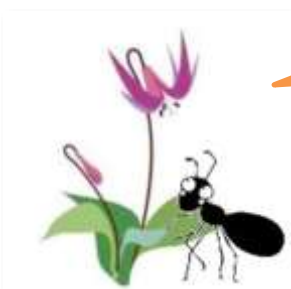
< 入会者 >

HR 由木工房 生活介護 7月1日付

NT 由木工房 就労移行 9月26日付

◎ ありの会のロゴが変わりました

「かたくりの会と私と」の表紙デザイン、本文レイアウトでお世話になりましたデザイナーの須賀稔様に、この度、ありの会のロゴのデザインをお願いしました。これまでのロゴの意味とイメージを残しつつ、優しい風合いが加わりました。それに伴いありんこ便りも新フォームに生まれ変わりました。今後ともよろしくお願い致します。



長い間、ありがとうございました。新しいアリさんにバトンタッチします。



これからは、私が頑張りますので宜しくお願いします。



今号の「ありんこ便り」はいかがでしょう？ 読みやすくなったでしょうか？ 内容についても、こんなことを

取り上げて欲しい、私の意見や経験を載せて欲しいという事をお知らせくださると大変うれしいです。

◎ お悔やみ

鈴木タエ様が平成28年10月8日にご逝去されました。タエ様は故鈴木昇様の奥様で、鈴木亨様のお母様です。御3名とも先日の法人10周年記念式典にて感謝状が贈られています。現在のぷらさdeかたくりを開所するにあたり、土地をお貸し下さり、由木かたくりの会のために多大なお力と愛情をそそいで下さいました。心よりご冥福をお祈り致します。

◎ 学習会のお知らせ

今年度下記のテーマと日程にて、学習会を企画しております。1月上旬に改めてご案内を出させていただきます。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

テーマ：「利用者及びその家族の健康について」

講師： 八王子特別支援学校 コーディネーター 加藤和子先生

日時： 2月3日（金）13:00～14:30

場所： 南大沢市民センター第1会議室

講師の加藤先生は、障害者の、幼いころから成人のライフステージにおいて様々な知識や、豊富なご経験をお持ちです。養護教諭のご経験から健康について深く関わりご活躍されております。ぜひ、ありんこ便りタイトル下の連絡先までご質問をお寄せ下さい。後日配布のご案内にも質問事項の記入欄を設けます。

◎ なたね油、ごま油のご紹介

会員の青木様（かたくりの家 生活介護）からのご紹介です。ごま油は「フェスタかたご」でも焼きそばの調理に使用しましたので、その高い香りは皆さまも堪能されたと思います。



坂本製油 なたね油 ごま油 他

昔ながらの製法で薬剤、防腐剤、添加物を一切使用していない、なたね油やごま油、つばき油等を精製、販売している工場が、今年の熊本地震で大きな被害を受けられました。ご縁のある青木様が再建のためにご協力されており、とても質がいいものなので是非皆様にもご紹介したいとお申し出がありました。

ご興味のある方は青木様まで（TEL:042-623-1104, 080-6778-1109）

もうすぐ楽しいクリスマス！！

今年も、もうすぐ終わります。

寒さに負けず、ガンバリましょう！！

